

# い くぼ ごうふんふくそうひん 猪の窪1号墳副葬品

●所在地／米湊 伊予市立図書館 ●所有者／伊予市

本墳は直径18m、残存墳丘高2mの円墳<sup>えんぶん</sup>で、内部主体は長さ167cm、深さ48cmの緑色片岩の組み合わせ式箱形石棺<sup>はこがたせっかん</sup>であり、内部は全面朱で覆われていた。石棺内には2体の遺骸<sup>いがい</sup>が埋葬されていた。うちA号遺体は熟年男性、B号遺体は若年男性である。時期は、古墳時代中期前半である。

副葬品として、石棺内から鉄剣3、ピンセット1、刀子<sup>とうす</sup>1、小型ガラス玉2が、石棺外の粘土中から土師器<sup>はじき</sup>1、鉄剣3、大型鉄鍬<sup>ぞく</sup>1、小型尖根式鉄鍬<sup>せんこん</sup>12、鉄鎌2、鉄鍬<sup>くわ</sup>2、鉄斧<sup>おの</sup>1、鋸<sup>のこ</sup>1、鑿<sup>たがね</sup>1、鑿<sup>のみ</sup>1、金網1などが出土した。

県内でこれほど多種多様な鉄器の出土例がないことなどから、本墳は渡来系の鍛冶工人集団の人々の墓ではないかといわれている。

